

地域の『防災マップ』作成活動をお手伝いします

みんなで自分たちの

防災マップ

を作いませんか？

自分たちの街には、どんな危険が潜んでいるのだろうか？

災害に備えて、私や家族は何をすればいいのだろうか？

災害が起きたら、どのように行動すればいいのだろうか？

危険箇所、避難場所、避難経路、要援護者、安否確認 etc.



パソコンや携帯電話も活用し、危険な場所や避難場所、避難ルートなど身近な防災情報を書き加え、地域の防災マップを手作りしてみませんか！



勉強会や街歩きを通じて、地域の危険を知る。

国や自治体が作成したマップを利用し、みんなの街の地形・地盤の生い立ちを考え、どのような自然災害の可能性があるのかを考えましょう。過去の災害で被災した様子についても確認しましょう。災害が発生したとき、どのように避難するのか街を歩き、危険箇所・防災施設などを確認しましょう。

マップに登録してみる。マップを見て考える。

自分たちでマップを作ることで、地域に潜む危険、課題を知ることができます。マップを大きな紙に印刷して広げ、家族や仲間と一緒に、どのように助け合えばよいかを考えてみましょう。

パソコンに表示されるマップの上に自分たちが集めた情報、行政が提供している情報（ハザードマップなど）などを重ねて登録できます。携帯電話から位置や写真を登録、閲覧もできます。インターネット型のため、みんなで最新情報を共有できます。



災害時の対応行動を考える

(例) 避難ルート、集合場所を家族で確認する。

(例) 高齢者や体の不自由な方を、どのように安全な場所に移動しますか？



協力関係を作る

(例) 避難所近くで井戸を持つ方に、水を提供してもらえるようお願いする。

(例) 遠くの避難所へ逃げる前に、近くの安全な施設や民家に避難させてもらえるようお願いする。



DoChubuは「つながるマップ」でみなさんのマップ作りをお手伝いします。